

教室×家庭で育むお子さまの、成長ストーリー [エピソード]

Episode

learning, living and you

0～2歳の早期支援の
必要性とは？

STORY #01

親が変わることで
わが子に起きた変化

STORY #02

不安な気持ちを軽くする、
子育ての新しい一歩

今の気づきが、
未来の成長へのカギ

第5号

2026.02



未就園のお子さま向けサービス紹介

ことばの遅れや関わり方が気になる……そんなときに使えるサービスをご紹介します。



児童発達支援と幼児教室のちがい

児童発達支援（福祉サービス）		幼児教室（自費サービス）	
発達が気になる就学前のお子さま	対象	就学前のお子さま（制限なし）	
自治体で通所受給者証を申請	利用方法	希望すれば誰でも利用可	
国が定めた基準に基づいた 個別・集団発達支援	支援内容	知育・集団活動・就園準備など	
原則1割負担（所得に応じた上限あり） ※詳しくはお住まいの市区町村にお問い合わせください。	利用料	自費（施設により異なる）	

児童発達支援は費用負担が少なく利用しやすいサービスですが、
利用には自治体で手続きが必要で、すぐに始められない場合もあります。

幼児教室など、ほかの選択肢も含めて、お子さまや家庭に合った方法を一緒に考えていきましょう。

ほかにもこんなサポートがあります

- **保育所等訪問支援** 幼稚園・保育園に在籍している子どもに対し、専任スタッフが訪問サポート
- **発達支援センター/療育センター** ... 地域の相談窓口。療育（発達支援）の相談や紹介をしてくれる場所
- **子育てひろば・一時預かり** 気軽に遊べる場所や、預けられる仕組みも。まずは地域の情報をチェック！

詳しくは自治体の相談窓口や、LITALICOジュニアまでご相談ください。



ことばの発達、 ゆっくりでも大丈夫？

「うちの子、ことばの発達がゆっくりかも」「同じ年の子とちょっと違うような……」

そんなふうに感じてても、お子さまが未就園の時期は、相談しても「様子を見ましょう」と言われることが多く、不安な気持ちが残ることもあるかもしれません。

そんな方に届けたい、ことばを話す前の時期だからこそできる支援があります。それは「人と関わることを好きになる」ためのコミュニケーションの土台づくりです。

この時期に必要なコミュニケーションの土台づくりとは、どのように育んでいくのでしょうか。

本冊子では、未就園のお子さまが利用できる通所サービスやLITALICOジュニアでの取り組み、家庭でできる関わり方のヒントなどお届けします。

Index

特集

今の気づきが、
未来の成長への
カギ

P2

ことばの発達、
ゆっくりでも大丈夫？

P3

未就園のお子さま向け
サービス紹介

P4-7

コミュニケーション支援
プログラム

プログラムについてご紹介

P8-11

STORY #01

親が変わることで
わが子に起きた変化

P12-13

STORY #02

不安な気持ちを軽くする、
子育ての新しい一歩

P14-15

こんなお悩み
どうしたら？

支援例の紹介

P16-19

いっしょに見つける、
成長のサイン

指導員座談会

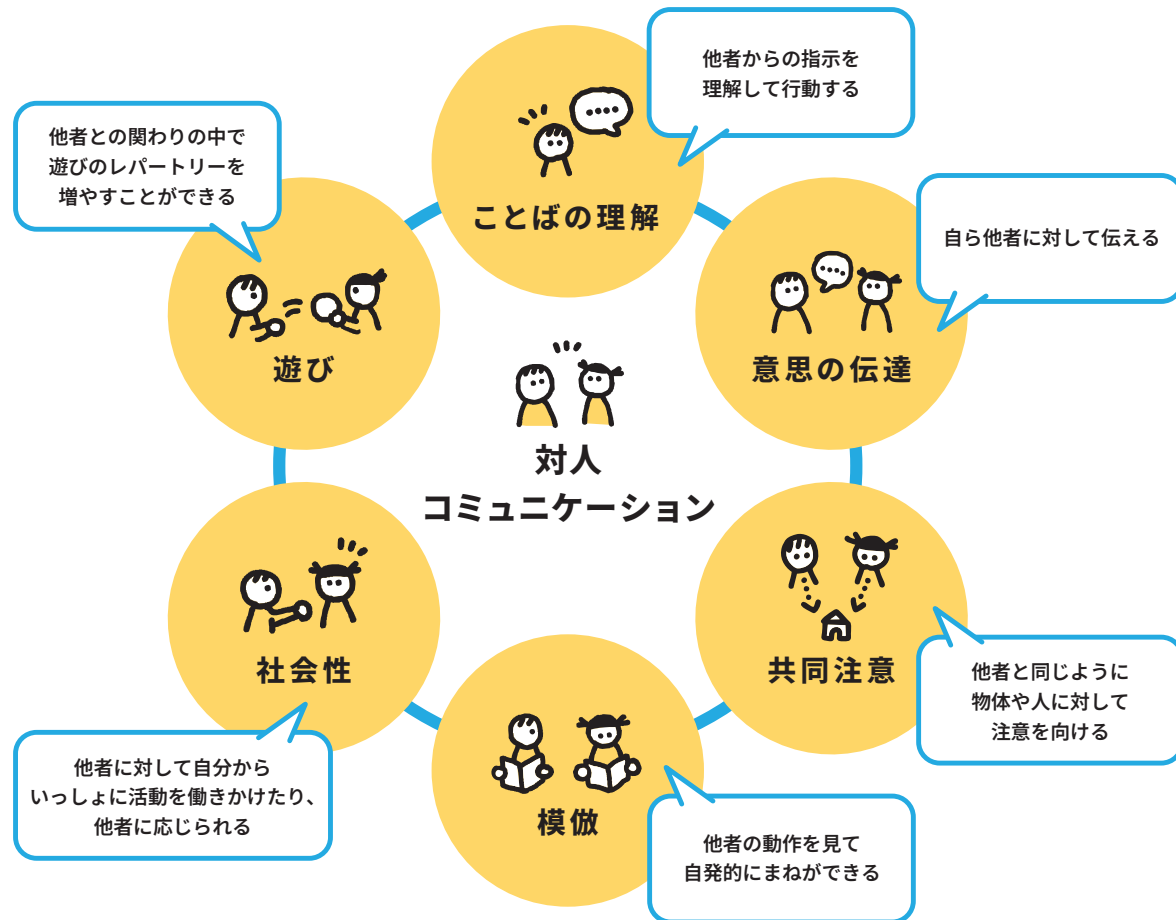
P22

LITALICOジュニア
パーソナルコースに
行ってみました！

体験レポート

実はことばの練習より先に必要なことがある！

右ページで示したコミュニケーションの土台を築く支援をしているのが「コミュニケーション支援プログラム」
このプログラムではコミュニケーションの土台を築くために6つのスキル獲得を目指します。



＼ LITALICOジュニア(パーソナル)の /

コミュニケーション支援プログラム

「発語がない」「ことばでやりとりができない」「指示が聞けない」そんな困りごと、ありませんか？

コミュニケーションがとれないと、子どものやりたいことが分からなかったり、指示が通じなかったり、生活するにあたって困る場面も多く、不安になりますよね。

コミュニケーションをとるために、「まずことばを話せるようにならないと!」と思われる方も多くいらっしゃいます。しかし、コミュニケーションの土台となるスキルが相互に関係しながら発達することで、ことばでコミュニケーションをとれるようになっていきます。

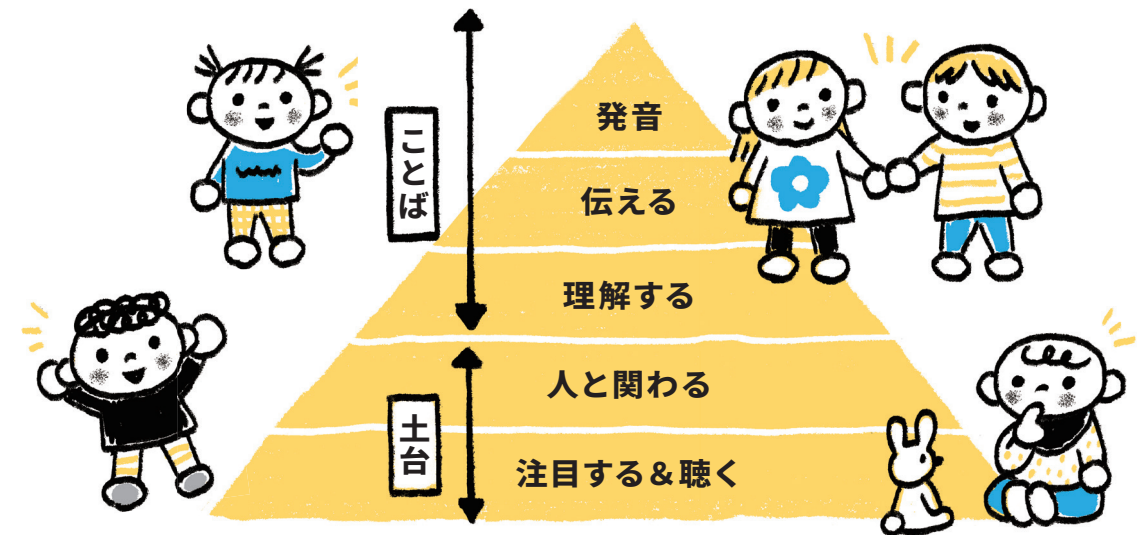


図 コミュニケーションピラミッド

出典：寺田奈々(2022)『0～4歳 ことばをひきだす親子あそび～子どもとのコミュニケーションがどんどん増える!～』小学館,p.9

ポイント
＼2／ スキル獲得には「成功体験を積むこと」が大切！

お子さまの段階に合わせて補助を入れることで成功体験を積めるように進めます。

成功体験をたくさん積むことでお子さまが自分から行動できるように促します。

練習するスキル 「ことばの理解」大人がお子さまの名前を呼んだとき、大人の方を見る



ココがすごい！

授業はどのスキルをどんなアプローチで伸ばすか計画にもとづいて実施されます。授業自体はお子さまの好きなものを使っておこなうので、お子さまも楽しく参加できます！



ポイント
＼3／ 保護者にも分からないことがあって当然！

お子さまが大半を過ごすのは家庭です。家庭でも授業と同じ関わりをすることでお子さまの学ぶ機会がグンと増え、スキルの獲得や定着が期待できます。



ココがすごい！

お子さまのスキルを伸ばすための関わり方って難しいですよね。授業の様子はモニター越しに見ることができ、授業後には先生から授業の振り返りのほか、家庭でできるお子さまとの関わり方などについてもお話をさせていただきます。



このプログラムのココがすごい！

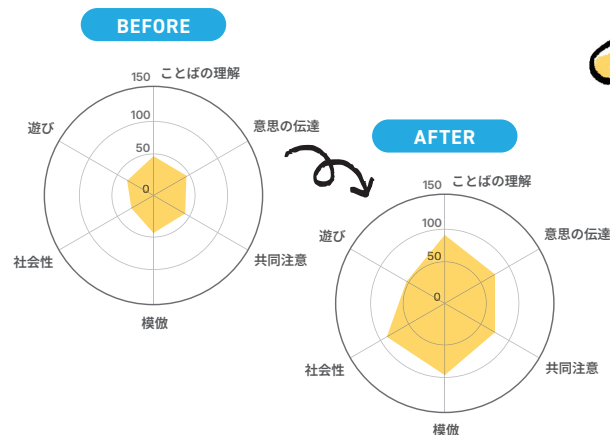
ポイント
＼1／ お子さまの状態、もっと知ろう！

お子さまの状態、分かっているようで実際に説明するのは難しいですね。このプログラムでは、独自のスキルチェックシートでお子さまのできる・できないをしっかりアセスメント（分析）します。

例

獲得スキル	進捗
大人が興味のあることばを使って声をかけたとき、大人の方を見る	5
大人がお子さまの名前を呼んだとき、大人の方を見る	4
大人が遊びや動作を見せたとき、見る・笑う・近寄る・触るなどに応じる	4

スキルチェックシートの結果をもとに、お子さまの今の状態を見える化！今の状態はもちろん、今後伸ばすべきスキルが一目瞭然です。



ココがすごい！

左のグラフは、アイコンタクトが取れず、一人で遊ぶことが多かったお子さまのスキル獲得状況を表したグラフです。左が通塾当初、右が通塾1年後の状態です。指示理解や発語を促すための土台として、まず社会性を伸ばす授業をした結果、ほかのスキルもグン！と伸びたことがわかります。



story 01 /

親が変わることで、 わが子に起きた変化



Profile

Mくん

年齢：3歳

利用歴：1年3ヶ月

Before

- 発語がほぼない
- 人や物に興味がありません
- 要求を伝えられない
- おもちゃの遊び方が分からない

After

- 3語文が話せるようになった
- 「人と一緒に遊ぶのが楽しい」という気持ちが出てきた
- ことばで要求を伝えられるようになった
- おもちゃの遊びの幅が広がった

「ことばの遅れ」だけが問題じゃなかった

息子は小さく生まれたので、ずっと発達が遅かったんです。発語がほとんどなく、人や物への興味も薄い。名前を呼んでも反応が薄く、要求もない。主治医からは「2歳で発達検査をして、必要ならことばの教室や療育（発達支援）を」と言われていました

くタイプではないのですが、先生にすごく懐いたこともあって通わせることにしたんです。

最初は「ことばが遅い」ことだけが問題なのかなと思っていたのですが、「社会性を育てることが大切」と言われ驚きました。こ

「こうすればいいんだ！」
親も一緒に学ぶ時間

とばは人との関わりの中で育つもの。だからこそ、人と関わる力から育てていく必要があることを教えてもらいました。

最初の授業で息子が泣いてしまい、私も同室することに。それ以来ずっと一緒に授業に入っているんですが、それが本当に良かったです。

息子は小さく生まれたので、ずっと発達が遅かったんです。発語がほとんどなく、人や物への興味も薄い。名前を呼んでも反応が薄く、要求もない。主治医からは「2歳で発達検査をして、必要ならことばの教室や療育（発達支援）を」と言われていました

授業は、おもちゃを渡すタイミング、発語を引き出す接し方、失敗しても肯定的に返す声かけなど、どれも息子の様子を丁寧に観察して組み立てられているんです。先生も「今はこうだから、こういう声かけをしました」と解説してくださるので、「こうすればいいんだ」と、私自身も学びながら関わることができました。



を出させる関わり方」は考えたことがなかったので、やり方が分かって、すごく変わりましたね。以前はおもちゃの遊び方が分からず、電車をただ動かすだけだった息子に、「電車のルールをつなげるのも楽しいよ」と見せてあげると、少しずつ「つなげると楽しい」という感覚が育ってきました。そのうち「こうすると楽しいかも」という発想も出てきて、おもちゃで遊ぶ幅もすごく広がりました。

授業後には「今週はこういうことを意識してみましょう」とアド

バイスがあり、それをおうちで実践。内容は夫とも共有し、メモを冷蔵庫に貼って、毎日の関わりに取り入れていました。次の授業のときに先生に「これできました」と報告すると、私のこともすごく褒めてくださるので、嬉しかったですね。

親の成長なくして、息子の成長はない

以前はあまり「見て」と言わなかったのが、今は「ママ見て！」「パパ見て！」と言うようになりました。そうしたら、今度は「これ、こうだよ」と2語や3語が出てきました。

保育園での友だちとの関わり方も変わりました。以前は、自分から友だちのところに行くことはあまりなかったんです。それが今は自分から友だちのところに行って話しかけたり、「一緒に帰ろう」と言ったりしているようです。

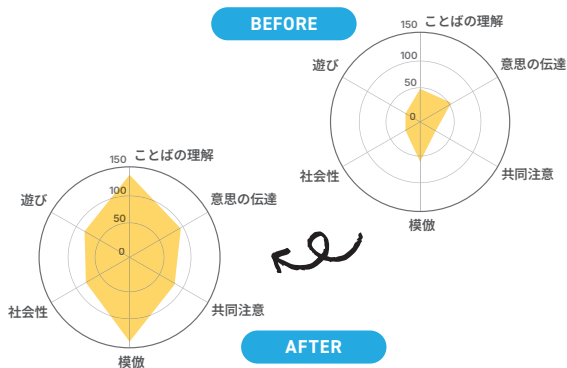
私自身も大きく変わりました。



相談できる安心感と、成長を一緒に喜べる幸せ

息子にとってLITALICOジュニア(パーソナル)は「楽しい場所」。私にとっては、息子の成長を一緒に見守り、相談できる場所です。困ったことがあっても、先生に聞けば論理的で具体的な答えが返ってくる。とても助けられています。

日常の関わり方を少し変えるだけで、子どもは伸びる。特別なことはしていなくて、視点を変えて声かけをしたり、働きかけるだけで、うまくいく子もいる。「親がそういうことを知って、実践できる」というだけで全然違うのでおすすめです。



Message

た。同じことを伝えるときは同じ声かけをする、興味を引き出すにはこうアプローチする——そういった工夫を知って実践することで、息子の反応も変わっていききました。

教室に通って、「親の関わり方で、子どもの成長はこんなに変わるんだ」と実感しています。私の成長なくして、息子の成長はなかったと思っています。



Mくんは「誰かと関わるのが楽しい」という気持ちがある。ごく育ったと思います。以前は困ったことがあったら物を投げて怒っていたのが、ちゃんと呼びに来てくれるようになりました。私自身、Mくんの「できること」が増えていくのがすごく楽しみでした。声をかけても、私の存在を認識してくれているのか分からないような状態から「先生！」と言ってくれるようになり、心が通じ合えた感じがしてとても嬉しいです。

一緒に取り組んでくださったお母さまにも感謝の思いでいっぱいです。



LITALICOジュニア(パーソナル)
高田馬場教室 指導員より

りたりこ パーソナル



Story 02

不安な気持ちを軽くする、 子育ての新しい一歩

気になる：“まだ様子見”
でいいの？

息子は発語がなく、ルーティンにないことが苦手で、保育園の行事も泣き叫んでその場にいられないこともあったんです。でも初めての育児だったので、これも個性かな〜くらいに思っていました。

1歳半健診では「発達が標準水準を超えていないので、また半年後に」と言われ、半年後も「また半年後に」と様子を見続けることに……。心配はありましたが、「まだ支援を受ける段階ではないのかな」と受け取ってしまいました。

そんな中、保育園の先生から「たぶん支援が必要です」と言われ、今できることを探そうと動き始めました。でも、公的な診断は半年待ち。通所受給者証の申請も時間がかかる。そこで、LITALICOジュニア（パーソナ

Profile

Sくん
年齢：3歳
利用歴：1年



子どもも親も、 一緒に変わる

私たちも声かけや接し方を学びました。どう声をかければいいのか分からないと先生に相談すると、「実況ですよ」と教えてもらいました。息子がやっていることを実況して、「できたね」をつけるんです。以前は「あ、並べた」で終わっていたのを「並べられたね!」と言う。そうすると褒めことばになり、ことばのインプットにもなる。

ことばを話すようになってきたときに、私たちが話しかけたことばを発しているのを見て、「話しかけることで、息子のデータベースにことばが溜まっている

くんだ」と話しかける重要性がわかりました。

発語がなかった息子が「見て見て!」と声をかけてきたり、関わりを求める姿も出てきました。授業を通して、周りに興味をもつことができるようになり、「相手と共有したい」という気持ちが生えて、「どう共有したらいいだろう?」という気持ちから「ことば」が育っているんだらうな、と胸に落ちました。

誕生日会も最後まで泣かずに座っていられたんです。保育園の先生は「大快挙ですよ!」と言ってくれました。今では友だちと遊ぶことができるようになり、参加できるイベントも増えました。

この1年で息子は自分の気持ちを伝えられるようになり、不安や辛さが減っていくのを実感しています。子どもにも親にも寄り添っていただいて、本当に感謝です。

Message

ル)に行くことに。
アセスメントで出てきた結果は、気になっていた点とぴったり同じで正確さを感じました。私たちが伝えた「保育園で周りの人と関われるようになってほしい」という思いも、細かい支援のステップに分解された支援計画として出てきて「これは任せるしかない」と思いましたね。

当初アイコンタクトが取れず、一人遊びに集中してしまう様子があったSくん。指示理解や発語を促すための土台として、まず社会性を伸ばすことを考えました。

最初はおもちゃを出さず、ひたすら体を使って遊びました。「遊ぶ対象が先生しかない状態」をつくることで、「先生と遊ぶのが楽しい」という感覚が育っていききました。

そして少しずつおもちゃを取り入れて、ずっと視界に私の顔がある状態で遊んでもらっているうち、遊びに私を入れてくれるようになりました。

Sくんのスキルがここまで伸びたのは、保護者さまの協力があってこそです。感謝をお伝えしたいです。



LITALICOジュニア（パーソナル）
横浜教室 指導員より

りたりこ パーソナル



Before

- 声をかけても反応がない
- 発語がない
- 人と遊ぶ様子がない
- ことばで「嫌だ」と伝えることができず、泣いてしまう
- 遊びの幅が狭い

After

- 周りへの興味がでてきて、物事を共有することができた
- 3語文が話せるようになった
- 集団に参加できる機会が増えた



指さしでの 要求が難しい

意思の
伝達

自発的な指さしをして意思を伝えることが少ない、手を引っ張って要求するなど、指さしでの発信が少ないと感じたことはありませんか？



まずは大人がお手本を見せてみよう！

そんなときは、まずお子さまが「指さしすると、ほしいものがもらえる！」という成功体験を積み重ねるアプローチをします。お子さまが好きな遊びやおもちゃの絵が描かれたカードを数枚並べ、「どれがいい？」と声をかけながら一緒に指さして選ぶ練習をすることで、指さしを使う意味を伝えていきます。

こんなお悩み

どうしたら？



他者に対して 興味を示さない

社会性

名前を呼んでも呼びかけに応じない、模倣をしない、など大人の行動に対してなかなか反応しない、興味を示さないことはありませんか？



ふれあい遊びで楽しい！をつくってみよう！

お子さまが他者に興味をもつためには、「人と関わると楽しいことが起きる！」という体験を重ねることが大切です。そのために、くすぐりや高い高い、ちょよちょよなど、お子さまが思わず笑ってしまうような遊びを通して、非言語でのやりとりを増やしていきます。

「未就園のお子さまへの支援」についてはあまり聞かないように思いますが、実際はどのような感じなのでしょう？

鈴木 健診で「様子見」と言われたので何もしなかったけれど、気づいたら年少になっていて「そろそろ支援が必要なのは？」と焦った」というお話は、保護者さまからよく聞きます。
山田 0〜2歳ぐらいの時期は、周りの人たちからも「個性だよ」「まだ大丈夫じゃない？」などと言われることが多いけ

れど、だいたい3歳児健診が診断のきっかけになるみたいですね。
でも支援は、やはり早く始めたほうが、その先の伸びしろにもつながります。早い段階でさまざまなアプローチを考えることでお子さまにあった方法で発達を促すことができます。

「コミュニケーション支援プログラム」では、どんな支援をされているんですか？

遠藤 「社会性」が土台になっているので、授業には生活場面での実践や、人と関わる遊びがたくさん入っていますよ。
袴田 そうですね。遊びの中で授業をすることが、このプログ



指導員座談会

いっしょに見つける、成長のサイン

「コミュニケーション支援プログラム」は先行して受講してくださっています。今回は、いる山田先生と、教室で支援をされている先生方に、日々支援に携わる

現在、0〜2歳の一部のお子さまがこのプログラムの企画や研修等を担当されて袴田先生、鈴木先生、遠藤先生の4人中での思いなどを伺いました。



子どもが打ち解けるスピードNO.1

おもちゃで広がるワクワク体験を提案します

おうちでもできる関わり方を一緒に考えます！

身体を使った遊びはビカイチ

山田亜悠美さん
プログラム企画・研修担当

袴田菜々子さん
(巣鴨教室)

鈴木亜美さん
(高田馬場教室)

遠藤明菜さん
(横浜教室)

ラムのよさだと思っんです。

大人でも、好きなことをしているときは笑顔が出たりしますよね。そうやって自発的な発信が増えるのと、そもそもモチベーションができている状態なので、積極的に練習してくれる土台が整っている。

鈴木 保護者さまへの支援も、このプログラムは充実していますよね。

私は、授業をモニタリングしていただく前に「今から、この遊びをこの意図をもってやります」など

とお伝えするんです。そうすれば、見ているだけで「おうちでも、こうやって遊べばいいんだな」と分かると思うので。

そして授業後のフィードバックでも、「今週はこの場面で、こんなおもちゃを使って、こんな声かけをしてください」と、細かくお願いしています。

そこまで具体的に決めてであると保護者さまもやりやすいように、実際にやってくださる人が多いんです。

その結果をお聞きして、毎回検討できるのも「TALICOジュニ

ア（パーソナル）の強みだと思います。

遠藤 そうですね。授業で私たち指導しているやり方と保護者さまの関わり方が違うと、お子さまは「同じことを言われている」と分かりづらいから、スキルがうまく定着しにくくなってしまう。

だから、おうちでも授業と同じような関わり方をしていただくことが、実はお子さまの成長を促す鍵になるんですよ。

鈴木 このプログラムでは、保護者さまと一緒に頑張ってくだ

さるが増えたと思いませんか？

「ことばが出るまでに、どのスキルを身につける必要があるのか」が明確になっているプログラムだから、「どこを褒めたいい」などの具体的な指針を、保護者さまと共通認識としてもてるようになりました。

だから、保護者さまが「今週は、こうしているときに目が合いました」などと報告をしてくださることもすごく増えましたね。

袴田 確かに以前だと「なんとかしてことばが出てほしい」という保護者さまが多かったんですけど、このプログラムは「その前段階のステップがある」ということが分かるので、今は「言ったことが伝わったのがすごく嬉しい」などとおっしゃる方が増えました。

前段階のステップ一つひとつの成長が、保護者さまも実感できるんだと思います。



山田 このプログラムは「話す」ためのアプローチというよりは、「人を好きになる」「人から学ぶ」ためのアプローチなんですよ。

なので保護者さまの意識も、『しゃべっているか』から『自分から人と関わる様子があるか』ということを見つめる意識へ変わったと思います。だから、「目が合った」「遊ぶ時間が延びた」というだけでも喜んでくださるんです。

そうやって保護者さまの視点を変えられたのはすごく大きなことだし、話すための土台の重要性にアプローチできるのが、このプログラムの強みだと思います。

最後に、皆さんが日々どのような思いで支援をされているのかを聞かせてください。

袴田 私は、保護者さまに伴走しているような感覚でお仕事をしているんです。だから、保護者さまから「おうちで成長を

感じられた」みたいなエピソードを聞くのがすごく嬉しいですね。

最初は「もう、どうしよう……」と落ち込んでいた方が、「先生聞いてください、これができるようになった！」などと言ってくださると、お子さまだけじゃなくて「ご家族皆さんの支援ができています」と実感して、やりがいを感じます。

鈴木 確かにそうですね。私も、保護者さまと「お子さまを応援する仲間」のようになれるのが、すごくいいなって思っているんです。

同じ方向を向いて「どうします？」って作戦会議できるところが、LITALICOジュニア

(パーソナル)の好きなところですね。

袴田 私は、本当に純粹に「このお子さまは、どうしたらもっと成長できるかな？」ということを日々考えて、スタッフ同士で相談し合えるところ

ころが素敵なところだなって思っています。

鈴木 そう、「えっ、だって最初、目合わなかったよね？もうピースしてるの！」みたいな話を皆でできるのが、すごく楽しい。

遠藤 私は、ある場面でなんとなくお子さまが「今これ言えな、伝えたいんだな」と思ったところを、いかにたくさんことばとして返して伝えるかが大切だと思うんですね。

それが、お子さまが大人に聞いてほしくてしゃべり始めるきっかけになると思うので。

だから「ここにきてくださる」とが、そういうきっかけづくりのひとつになったらいいな」と日々思っています。

山田 私は昔、保護者さまに「お先真っ暗だったけど、ここに来て世界が広がりました」と言っていただけで、「支援をしてくれてよかったな」と思ったことがありません。

「ここまで」というリミッターがそのご家族にあったけど、お

子さまが何かをやってみてできたことや、チャレンジへのハードルが下がったことなどでリミッターがとれて、世界が広がったという意味だと思うんですけど。

だから今悩んでいて、「この先どうなるんだろう？」って漠然とした不安をおもちなのであれば、「来ていただいて、一緒に未来を明るくしていきませんか？」とお伝えしたいですね。

「その伴走者、サポーターにならせてください」という思いがあります。



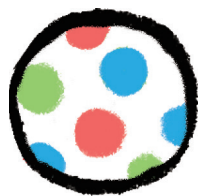
みつかるかな？

きいろの
アヒル



つみきをもらった
おとこのこ

カラフルな
ボール



しょうぼうしゃ



人はちがう。
それでいい。
そこから始まる。

LITALICO
りたりこ

株式会社LITALICOは「障害のない社会をつくる」をビジョンに掲げ、働くことに障害のある方に向けた就労移行支援を開始後、児童発達支援や放課後等デイサービス、幼児教室&学習教室、プログラミング教室の教育分野へ事業を展開。店舗運営の他、従来の分野に高齢者福祉を加え、当事者の方やそのご家族、企業などそれぞれに向けたポータルサイトやWebサービスを展開。

2016年3月に東証マザーズに上場、2017年3月東証一部に市場変更。

2022年4月に東京証券取引所プライム市場に移行。

この冊子は
LITALICOジュニア(パーソナル)の
協力のもと制作いたしました。

LITALICO
ジュニア



LITALICOジュニア

体験
レポート

パーソナルコースに 行ってみました!

「子どもの発達、少し気になる……」

「専門の教室があるのは知っているけど、何をやるの?」

ちょっと
気になる……

※写真はイメージです

予約

01

Webから簡単申込み!

公式サイトから簡単な質問に
回答して申込完了。

事前ヒアリング

02

丁寧な電話サポート

スタッフの方からお電話があり、
「お子さまの様子」「気になってい
ること」などをじっくりヒアリング。
不安や疑問も聞いてもらえて安心!

当日

03

教室に到着!

明るく落ち着いた雰囲気ので
教室。スタッフの方が笑顔で
迎えてくれました。

振り返り

05

分かりやすくフィードバック

体験スタート

04

「楽しい!」の中に成長のヒント

遊びのような活動を通して、特
性に合わせた関わり方をしてく
れるのが印象的。できたことは
しっかり褒めてくれて、
子どもも嬉しそう!

初めてでも、しっかり寄り添って
もらえるから「うちの子、こうい
うサポートもありかも」と
気づききっかけになる
体験でした!

資料請求・体験授業の
お申込みはこちら

<https://biz.litalico.jp/3XkyHUo>

